

# 委員会レポート

## 総務産業常任委員会 調査報告

### ① 産業人材の確保について ② 災害復旧の状況について

#### ① 産業人材の確保策について

現状と課題、現在実施している本町の施策、今後の実施方針について、農林課・商工観光課から説明を受けて調査を実施した。

今後の具体的施策案として、人材確保育成会社（仮称）の設立により労働力を確保するとしており、それを検討・推進する母体として関係課の担当者で構成するプロジェクトチームを平成29年中に立ち上げ、設立に向けた構想案の策定について平成30年度中の完了を目指したいとのこと。

委員からは「町外に人材を求めるだけでなく、資格取得等により人材育成をするという考え方も大切」「農業、医療・福祉分野の人員確保を重点的に行うべき」「外国人材の活用や定年退職した方など、

#### ② 災害復旧の状況について

埋もれた人材を活用する方策を検討すべき」との意見があった。全産業分野に担い手不足・労働力不足が広がっている実情を把握し、早期にプロジェクトチームを立ち上げるとともに、JA・商工会等と連携し、早急に検討・実践するよう提言し、調査報告とする。

#### ② 災害復旧の状況について

水道課・建設課・農林課から説明を受けて調査を実施した。併せて、現地調査を実施し状況を確認した。

水道の災害復旧状況について、第1浄水場からの配水管路は、昨年のうちに本復旧として終了している。取水施設は12月末、第2浄水場からの配水管路は11月末までの完了予定となっていたが、資材の不足により納期が遅くなり、完了予定が本



町内の災害復旧の現場を視察



町内の災害復旧の現場を視察

年度中になつたとの説明を受けた。農業用水施設については、石山地区及び円山地区の2系列とも被害を受けた。両地区の頭首工については北海道開発局の直轄事業として来年秋までに復旧を終了する見込みとなっている。本年度は、各送配水管路の本復旧工事、調整池の電気設備及び機械設備工事、導水管路の復旧工事が本町の事業として行われているが、調整池の機械設備では洗砂機器などの損壊が確認され、製造に相当な時間を要すること、導水管路は管資材の不足による納期遅延や査定時に確認できなかった箇所を試掘で更に被災が見つかったことにより、本年

度中に完了する予定であったが次年度秋頃になるとの説明を受けた。公共土木施設災害復旧工事の進捗状況は、これまでの発注工事が合計27件でほぼ順調に進んでいる。4か所の道路工事が未完了であるが、年度内には完了すること。平成30年度は、石山橋に接続する道路本体の復旧と本年度新たに発見した5か所について災害復旧工事を行う予定である。

ペケレベツ川復旧事業に伴う橋梁の架替え工事（石山橋・ペケレベツ橋・錦橋・新錦橋）は、河川を改修する北海道が平成32年3月開通に向けて進めている。そのほか北海道が管理する久山川・芽室川・小林川等に関しては、随時発注を進めているが護岸ブロックの調達に苦慮しており、発注条件を変更して対応しているとのこと。

農地被害については、全発注済みで、工事はほぼ完了している。農地災害復旧後の土づくりのためのフォロワーアップ調査などは国や北海道・地域と協力して実施する事業として計画されており、激甚災害にあわれた方々の自己負担分や被災した農地を自己復旧した方々への支援などは、本町独自の支援策として計画中である。

排水路については資材不足などにより、団体営86地区で発注率51・4パーセントの状況となっている。

現地調査として、4か所を調査し説明を受けた。すべての復旧が早期に完了することを望むが現状復旧が主であるため、今後の災害・減災対策とともに町民の命と財産を守るための施策・事業の検討・実施を望む。

## 委員会活動として閉会中に行った所管事務調査の内容を、各委員会は平成29年第10回定例会において報告しました。

※内容は要約されています。報告書の全文は議会ホームページでご覧になれます。

### 厚生文教常任委員会 調査報告

#### 保育施設の整備について

本町において保育所の建設事業が進められることから、訓子府町認定こども園「わくわく園」と美唄市立「ピパの子保育園」を訪問し、調査を実施した。

#### 訓子府町認定こども園「わくわく園」

建物構造は木造平屋建、建設事業費は約12億円。定員が200名の町立幼保連携型認定こども園として、平成28年4月1日に開設。園舎は、芝生の中庭（はだしの庭）を中心に回遊性のある廊下でつながっていることで周囲から目が行き届き、園舎全体に一体感が生まれている。町産カラマツの集成材を採用した木造で、床材は姉妹町の高知県津野町産材ヒノキを使用、外壁は建築の際に出た現場掘削土を練り込んだレンガタイルを採用するなど準耐火建築物とすることで、繊細な構造表

#### 美唄市立「ピパの子保育園」

建物構造は鉄筋コンクリート造3階建、建設事業費は約4億4千万円。園舎については、駅周辺で利便性が良く、建設費用の軽減や建物の有効利用が図られることから、平成27年3月末に閉校した専門学校の施設を改修し、平成28年4月1日から開園している。

広い窓からの自然光、用途によって開放可能な可動式壁の保健室を設置。木のぬくもりで優しく落ち着ける内装となっている。0歳か

子育て支援センターとの連携による地域の子育て支援活動、移動キッチンを活用などによる調理体験や地域食材の活用、食育を中心とした地域連携と完全給食の提供、全ての乳

幼児が入園可能な制度整備による保護者の就業支援など、ニーズに配慮した運営が行われている。

ら2歳児の保育室及び午睡室には空調設備が、3階には全児童が集合できる遊戯室が整備されている。安全な給食提供のため、調理室内には調理員専用トイレと空調設備が設置されている。

育（植物を育むことが心豊かな人間形成に役立つ）なども実践している。



訓子府町と美唄市の保育施設を視察



町内の災害復旧の現場を視察